

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日：2025年（令和7年）1月1日

会報 第138号

特定非営利活動法人（NPO法人）

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【本部事務局】〒369-1246 埼玉県深谷市小前田1552-1

TEL 048-580-7048 FAX 048-580-7049

E-mail info@aac21.net

【カンボジア事務所】Royal park condo, Street 608, Toul kok, Phnompenh, Cambodia (855) 17-599-707

【ホームページ】[カンボジア支援](#) [検索](#)

【公式ブログ】[メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)



小学校の校舎建設のためのチャリティーショー開催

10月6日（日）、「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」（新潟市秋葉区・石川幸夫代表）と「ライオンズクラブ国際協会」（333A-地区 新潟県）が共催して「チャリティーショーin新潟」（新潟テルサ大ホール・昼夜2回公演）が盛大に催された。

メインゲストは昨年同様、世界で活躍するイリュージョニストDAIKIさん、加えて3人の若手マジシャンが出演してくれた。

チャリティーショー開演前、小学校建設資金の目録贈呈式がステージで行われ、根岸理事長が出席して目録を受け取り、来場された皆さまに御礼のあいさつを申し上げた。

チャリティーショーの収益金はすべて、本会を通じカンボジア小学校の校舎建設資金に充てられる。

校舎は今年3月に完成予定、新潟県民の温かい善意が、今年3月にカンボジアで花開く。



目録贈呈式

「味の素グループ労働組合」が資金協力、辺境小学校の校舎完成！

カンボジアの首都、プノンペンから車で5時間かかる辺境の村で建設中だった小学校の校舎が無事完成、2月の開校式を待つばかりになった。

校舎を新設する小学校は「メル小学校」（クラチェ州スヌオル郡スクムコムンメル村・生徒数＝298人）、本会と連携してカンボジアで教育支援活動を展開する「味の素グループ労働組合」（本部＝東京都中央区京橋）が建設資金を提供してくれた。

校舎はレンガブロック造りで平屋建ての3教室、すぐに授業ができるよう、教室には机（椅子付き）や黒板などが予算内で設備される。

同団体の皆さんが日本から多数出席し、2月8日に開校式を行う予定。



完成した新校舎前で喜ぶ生徒たち

お年玉募金にご協力お願いいたします

今年も、お年玉募金にご協力をお願い申し上げます。

会員様の高齢化や長引く不況などにより、本会の活動を支えてくださる会員数が減少しております。それでも、こうした苦境の中にあって長年にわたり、本会の活動を支援してくださる皆様には心より感謝しております。

今回のお年玉募金は、教育里子への教育支援金に充当させていただきますので、皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば79年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

里親さんありがとう



井戸建設で水問題に取り組んできました

物量より技術で勝負するのが日本人らしくてかつこいい！

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会

理事長 根岸恒次

70代も後半になると、益々涙腺がゆるみがちになります。NHKの名物番組「プロジェクトX」のテーマソング、中島みゆきが唄う「地上の星」が流れると、番組をまだ観ていないのに目頭が熱くなります。

10月5日、その「新・プロジェクトX」で、カンボジアの首都プノンペンで活躍する北九州市水道局の皆さんの活動が紹介されました。

20年余に及ぶ内戦により、カンボジアの首都プノンペンの水道網はズタズタに破壊されましたが、フランスや日本などの援助により復旧工事が進んでいました。そんな中、JICAの要請を受けてソフト面で技術協力したのが、北九州市水道局の皆さんでした。

北九州市水道局の皆さんは、過去の経験を生かし最新の技術を導入して、茶色だった水道水が飲めるほどの真水に生まれ変わりました。「プノンペンの奇跡」と呼ばれています。

約30年前、私が初めてプノンペンを訪れホテルに泊まった時の水道水も、茶色でした。飲めないどころか、風呂に入るのもためらったものです。

ところが21世紀になり、北九州市水道局の皆さんの努力が功を奏し、飲めるほどに水質が良くなりました。厳しい日本の水質基準にも合格したそうです。

カンボジアが「プロジェクトX」に登場したのは、今回が2度目と記憶しています。1度目は1990年代、ポル

ポト派により破壊されたプノンペンのサップ川にかかる橋の修復工事を請け負った、日本の建設会社の物語でした。その橋は今も「日本橋」と呼ばれています。

本会は、カンボジアの水問題解決の一助にと2003年から井戸建設を始め、現在まで386基の手押しポンプ井戸を地方の小学校や村に寄贈してまいりました。

特に辺境は未だに水道が普及していないため、井戸に対するニーズがある限り設置を推進していくつもりです。ご支援よろしくお願いいたします。



【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

（活動のための諸費用含む）

- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入（毎月、年2回）のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙（日本語に翻訳）と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。（子どもから写真とお礼の手紙が届きます）

教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。

(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)

また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツー・マンの教育支援です。

048・580・7048 FAX 048・580・7049



ムーン・ソピアリット君
(男の子)

キリソコム小学校
(コンボンスプー州ソムロントン郡)
4年生(9歳)

- 両親離婚、母親のみ。兄と姉がいる。現在母親、兄、姉と暮らす。
- 好きなこと＝バレーボールをすること。
- 学校まで徒歩で15分。



テン・チャンカーちゃん
(女の子)

キリソコム小学校
(コンボンスプー州ソムロントン郡)
3年生(8歳)

- 両親離婚、母親のみ。妹が1人いる。現在母親、叔母、妹と暮らす。
- 好きなこと＝絵を描くこと。
- 学校まで徒歩で5分。



カン・パンニャー君
(男の子)

ノラローム小学校
(コンボンスプー州コンピセイ郡)
6年生(12歳)

- 両親離婚、母親のみ。兄が1人いる。現在母親、祖父母、兄と暮らす。
- 好きなこと＝バレーボールをすること。
- 学校まで徒歩で5分。



トム・パニット君
(男の子)

ノラローム小学校
(コンボンスプー州コンピセイ郡)
4年生(9歳)

- 両親離婚して不在。姉1人、弟2人いる。現在祖父母、姉、弟と暮らす。
- 好きなこと＝サッカーを観ること。
- 学校まで徒歩で30分。



モン・リカーちゃん
(女の子)

キリソコム小学校
(コンボンスプー州ソムロントン郡)
1年生(6歳)

- 母親死亡、父親再婚して不在。兄弟なし。現在祖母と暮らす。
- 好きなこと＝本を読むこと。
- 学校まで徒歩で15分。

ボランティアで 会報発送のお手伝い



恒例になりました「会報発送時のお手伝い」ですが、10月13日(日)、埼玉県桶川市にお住いの3人の会員さん(榎川さん、小林さん、田村さん)が来局し、封入や宛名ラベル貼りなどの作業を手伝っていただき、郵送を済ませることができました。

これからも、会員相互の親睦交流を兼ね、原則隔月に発送作業を行います。お手伝いできる方はご一報ください。(駐車場はあります)



ボランティアで
発送のお手伝い

教育支援校が水没

毎年9月～10月のカンボジアは雨期の末期で、降雨量が最も多くなる季節。時に洪水が発生する年もある。



水没した小学校

本会が教育支援する25の小学校の中で最も洪水に見舞われるのが、メコン川が近くに流れる「プレーク少学校」(トゥボンクモム州)、過去何度か洪水の被害に遭っている。今年もメコン川の水が堤防を越えて流入、小学校も長期の休校を余儀なくされた。その後年度末休みになり、11月には水が引いて無事新学期を迎えることができた。

新学期がスタート

カンボジアの小・中・高校では、1ヶ月間の年度末休暇を経て11月1日から新学期が始まった。コロナ禍の影響により新学期の開始があとにずれていたが、ようやく元に戻った。

本会が里子の教育支援をしている25の小学校も新学期を迎え、里子たちも元気に登校を始めた。



自転車通学する生徒たち

平古場副理事長がカンボジア訪問



出前授業の様子

9月18日～26日、平古場副理事長がお孫さんと一緒にカンボジアを訪問した。滞在期間中、本会が教育支援している「サンハックサットレイクメイ小学校」(コンボンスプー州ウドン郡)で出前授業を行い、日本の歌を指導した。

この他、オリンピックスタジアムで柔道練習しているカンボジアの青少年を対象に柔道指導を行い、柔道着をプレゼントした。

小学校の校舎建設が始まる



着工式の様子

11月2日、カンボジアの首都プノンペンから車で約2時間の所で、小学校の校舎建設工事が始まった。建設に先立ち、地元住民や小学校の先生が参加して着式を行った。本会から現地スタッフが参加した。

校舎を新設するのは「ジーパオ小学校」(コンボンチャム州スレイソントー郡。生徒数＝235人)、本会と連携してカンボジアで小学校の校舎を寄贈している「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区・石川幸夫代表)が建設資金を提供してくれる。加えて石川桂さん(愛知県在住の協力者)が、建設資金の一部を負担してくれることになっている。

「カンボジア教育支援西予」が2つの小学校に遊具寄贈

広瀬さん(愛媛県在住の会員)が代表を務める支援団体「カンボジア教育支援西予」の皆さんが、鉄くずなどの廃品を集めてお金を貯め、8月に続いてカンボジアの2つの小学校に遊具セット(ブランコ・滑り台・回転遊具)を寄贈してくれた。10月18日、現地スタッフが贈呈式に出席した。

来年1月には久々に、辺境の小学校に井戸を寄贈して下さることになっている。



遊具をありがとう

お盆と水祭り

10月1日～3日、カンボジアのお盆(プチュンバン)が行われ、信仰心の篤い大半の国民がお寺に行き、行事に参加した。この日は3日間の祝日。

11月14日～16日は恒例の水祭り、こちらも3日間の祝日。全国各地でボート競走などの行事が行われた。メインはプノンペンのサップ川で行われたボート競走。全国から集結したチームがスピードを競い合った。水祭りが終わると雨期から乾期になり、1年で最も過ごしやすい季節を迎える。



水祭り

昭和女子大学文化祭でカンボジア美術指導を紹介

11月9日～10日、昭和女子大学(東京都世田谷区内)で文化祭が行われ、8月に同大学の藤澤准教授や学生さんたちがカンボジアの小学校で美術指導した様子が展示された。

根岸理事長が展示を見学、藤澤先生やカンボジアを訪問した学生たちと交流した。

好天に恵まれ、大勢の来場者でにぎわっていた。



昭和女子大学文化祭にて

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- 国内では円安、現地カンボジアにおきましては物価が高騰しておりますので、やむを得ず里子へのプレゼント代を下記の通りに値上げさせていただきます。どうぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。
- 事務局に届いた里子プレゼントにつきましては、年に1～2回程度になりますが、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、なるべく海外送金可能な現金をお送りください。

現地購入品目一覧表

●自転車(中古品)	9,500円
●お米(50キロ入り)	5,500円
●通学用カバン	3,500円
●ティシャツ2枚&サンダルセット	2,500円
●お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,500円
●文房具セット(ノート、筆記用具類)	1,500円

※同封の振込票にてご送金をお願いいたします。



里子への教育支援金を 隔月に届けています

会のブノンペン事務所では、教育里子が通学する小学校(現在25校)を現地スタッフが隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、カンボジア通貨(リエル)に換金して教育支援金を届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も卒業した小学校に集まり、支援金を受け取っている。

10月7日～12日の間に8月分と9月分を、2人の現地スタッフ(ドライバー含む)が各小学校を訪問し、教育支援金と教育里親さんからのプレゼントを届けた。



教育資金を届けました

が、ようやく元に戻った。教育支援を受けているカンボジアの教育里子たちも通学を始め、大半が進級(又は上の学校に入学)できたようだ。写真Ⅱ右からクロト・ソジアターちゃん(里親は村上さん)、サーウ・ソパスット君(里親は稲吉さん)、ヴォン・ラヌット君(里親は阿部さん)、ロン・タノン君(里親は森岡さん)、スム・ソティアニーちゃん(里親は石井さん)、テウー・ソティアリーちゃん(里親は藤さん)、ノッチ・ダリッチちゃん(里親は鈴木さん)、ブー・キムハイちゃん(里親は高橋さん)。(ブレイチウム小学校)



元気な里子たち

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在220人(10月末日現在)の子どもたちを教育支援している。カンボジアの小・中・高校は、10月1日～31日の年度末休暇を経て、11月1日に新学期が始まった。コロナ禍で新学期の開始時期が遅れていた

クメール教育里親基金活動レポート

投稿

母よ

今 紀子(東京都在住 会員)

「ビッグイシュー」という雑誌をご存じだろうか。ホームレスの人の自立支援を目的にしている。ささやかながら私は友人らと語って、毎月、購読している。

私の住まいの近くに販売所があるので、私が一括して求めることにしている。路上で何かを販売する仕事は過酷の一言につきる。

しばらく販売者の姿を見かけないと思っていたと「亡くなりました」「膝が痛くて立っていられない」などのうわさを耳にする。いつも買っている場所がしばらくの間、無人だったことがある。それでも諦めずに時々ぞいていると、ある日「いた。いた。いた!」

新しい雑誌を求め、まだ入手していないバックナンバーを頼むと「明日、持ってくる」と言う。しかも時間まで指定する。本当!?

「雨だとだめでしょ」「雨でも来る」本当かな!?ところが何と、その「明日」は見事に雨だった。雨か。でも行かなくちゃ。

かの人は、うまく雨をさけた場所に立っていた。向こうから手を振った。重い荷物を運んでくれたお礼を言い、しばらくおしゃべりをした。その短い会話の中で彼は「母の死に目に会えなかったのが残念」という言葉を何度も口にした。私がちょうど彼の母親位の年ごろだったので言いやすかったのだろう。

私の兄も最近亡くなった。関西に住んでいるのだが、生前、兄は家族に故郷の墓に「分骨」してほしいと言っていたという。

私たちの父親は私が二歳の時病没している。

母はどんなに苦労して私たちを育ててくれたのだろう。兄は長い間、親戚にあずけられて育った。そのせいか母に対する思慕が強い。

かの人といい、兄といい、男性が母親に対する思いは、女である私にはわかりかねる。

でもやっぱり思う。私も「骨っこ」だけでも母に抱かれたいと。

投稿

あの『クロマー』がユネスコ遺産に!

佐々木 英介(東京都在住 会員)

この度開催された第19回ユネスコ無形文化遺産保護条約政府間委員会において、カンボジア伝統の『クロマー』が無形文化遺産代表リストに登録されました。でも、『クロマー』って何?と、ご存じない方も多くいらっしゃるかもしれませんが、当会が毎年代々木公園イベント広場で出店しているカンボジアフェスティバルに一度でも足を運んでくださった方なら、きっと見覚えがあるはずです。



カンボジアフェスティバルに出展

私達のブースでは会の活動報告に加えてカンボジアの衣類やアクセサリなども販売していますが、その中にある一見スカーフ風格子柄の布こそ、カンボジア伝統手織り布である『クロマー』なのです。(写真内で赤丸で囲まれた布) この伝統布は装飾としても素敵ですが、カンボジアでは日常生活で幅広く活用されてきました。

例えばこんなふうにも。風呂敷のように荷物を包む、日除けや帽子代わり、子供を寝かせるハンモックがわり、屋外で作業する時に羽織る、水浴びをする時の腰巻き、タオルとして、ウエストポーチ代わり(ヤシの木に登る時など両手を空けて物を運ぶ際に使用)。このようにクロマーは、実用性と美しさを兼ね備えた多用途な布です。

もちろん日本ではヤシの木に登ったり屋外で裸になって水浴びをするような機会は滅多にないでしょうが、かつての風呂敷のように、アイデア次第で様々な使い方が楽しめます。更に、クロマーをファッションアイテムとして取り入れると、個性的なスタイルを演出できるでしょう。今後も会ではイベントにて安価で販売する予定ですので、皆様も是非手に取ってその魅力を体感してください!

投稿

カンボジア最大の鍾乳洞

中村 善信(カンボット州 ケップ在住)



私の住まいから30分の所に鍾乳洞があります。「カンボットラックマウンテンパーク」です。カンボジアでは最大の鍾乳洞だと言われています。鍾乳洞内にはカンボジアらしく、たくさんの仏像が祀られています。洞の入り口前後には、食事処とお土産屋さんがあります。バスの団体客も多いです。

投稿

技能実習生はなぜ失踪してしまうのか?

根岸 恒次(法人理事長)

日本で働く外国人労働者は204万人(昨年10月時点、厚生労働省発表)と、過去最多となった。そのうち41万人と約2割を占めるのが技能実習生だ。しかし、劣悪な環境などを理由に昨年は過去最多の9千753人が実習先から失踪した。政府は「技能実習制度」で原則、転職を認めていないことが失踪者の増加を招いている可能性もあるとみて、転職を例外的に認める場合の要件を明確化するなどの対策に乗り出す方針だ。入管庁によれば、全体に占める失踪者数は1.9%。国別ではベトナムが最多で5千481人、次いでミャンマーが1千765人、中国816人、カンボジア696人と、カンボジア人の失踪が4番目にランクされた。職種別では建設関係が4千593人で、ほぼ半数を占めた。厳しい労働に耐えきれなかったのだろうか。「元技能実習生ベトナム女性の告白」の見出しで、職場から失踪したベトナム人女性の失踪理由が新聞紙上で明かされていた。実習先の仕事場は「室内で野菜の箱詰めや袋詰めの作業」。建設現場とは違い体力的には女性でも十分可能な職場だが、失踪理由を「職場で嫌がらせを受けてつらかった」と明かしている。職場の人間関係に悩んだ末の失踪だった。特に職場の上司からは頻りに叱られ、「仕事ができないうやめなさい」と、毎日のように始末書を書かせられたという。寮生活の規則に違反しただけで1週間の出勤停止(この間は無給)にもなった。待遇の不満もあった。手取り20万円と説明されていたが、実際には月平均で12万円だった。「土日は基本的に休み」と聞いたが、実際には週休1日だった。受け入れる日本の会社は、実習とは名ばかりで外国人実習生を労働力として考えており、温かく迎え育てていく気持ちなどさらさらなさそうだった。一方で、最近の円安が外国人労働者の日本離れに拍車をかけている。ピーク時の半分に値下がりした円安、昔10万円仕送りできていたのに、今は半分の5万円が限度という。外国人労働者に冷たい日本の会社と円安により、労働力不足に悩む日本社会は益々窮地に追いやられることだろう。

本会の会員状況をお知らせいたします

(2024年10月末日現在)

●教育里親会員	171名
●個人会員	60名
●団体会員	12団体
●寄付協力者(随時)	48名
合計	291名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局長 2025年のカンボジア訪問は、2月上旬と3月下旬に小学校の校舎贈呈式があること、事務局を長く空けることができないことから、1月4月の間2度にわたり、理事長がカンボジア訪問します。日程は前半が1月20日、2月12日、後半が3月22日、4月14日に決まりました。この間、既に多くの団体・個人の会員さんが分散して参加してくれました。訪問が有意義かつ無事に行われますよう、お祈りください。

会員さんからの会費領収証等に同封する「カンボジアの子どもたちミニカレンダー」は、毎月遠藤啓さん(静岡県在住の会員)が寄贈してくれています。2006年から始まり、もう20年近くになります。ありがたいことです。いつまでもお元気で。

次の会報は、1月、2月のカンボジア訪問終了後、3月中旬、下旬頃に発行を予定しています。3ヶ月ほど間が空きますが、カンボジア訪問時の新鮮な記事を掲載しますので、ご期待ください。



16%増

カンボジアの税関・消費税総局が発した報告書によると、2024年1月から10月までの輸出総額は215億ドルに達し、前年同期の185億ドルから16%増加した。主な輸出品目は、衣料品、履物、旅行用品、自転車、自動車用タイヤ、ゴム、キャップ、マンゴー、ロンガンといった農産物も含まれている。主要な輸出先はアメリカ、ベトナム、中国、日本、タイの5カ国だった。

カンボジアの輸出総額が前年同期比で16%増

11月14日から16日までの3日間にわたり実施された水祭りでは、カンボジア政府はHIVやエイズ予防活動の一環として、11万個のコンドームをポート競走参加者や一般市民を対象に配布した。カンボジアでは、HIVやエイズは依然として重要な公衆衛生上の課題であるため、こうした取り組みが必要不可欠であるとしている。



コンドーム配布

プノンペンの水祭りでコンドーム11万個配布



狂犬病ワクチン接種

英国に本拠を置く非営利団体が主導した2週間のキャンペーンにより、カンボジアで23万匹の犬が狂犬病ワクチンを接種された。これはアジア最大級の接種活動で、公衆衛生向上に向けた大きな進展だ。キャンペーンは10月21日から11月4日にかけて行われた。

狂犬病ワクチン接種キャンペーン、23万匹の犬を保護



ネット記事から最近のカンボジア情報をお知らせします。

カンボジア警察は11月6日、プノンペン市内の建物で約200人の外国人を違法なオンライン賭博容疑で拘束した。同建物内で拘束されていた被害者からの情報提供を受け、特別部隊が実人を中心とする約200人。



違法賭博で拘束

違法賭博組織、プノンペンで外国人200人拘束



カンボジアの鉱山

カンボジアでは11月3日までに12,558kgの純度90%の金を産出したことが明らかになった。モンドルキリ州で操業する民間企業によるもので、鉱業エネルギー省が発表した。カンボジアが豊富な鉱物資源を有し、国際的な鉱業企業からの関心が高まっている。

カンボジアの鉱山で13トンの金を産出

カンボジアの鉱山で13トンの金を産出



カンボジアに恩恵

カンボジアは米国の次期大統領であるドナルド・トランプ氏が中国製品への高関税を実行すれば、その恩恵を享受する可能性があるという。米国企業はすでに中国以外の生産拠点を模索しており、カンボジアへの移転計画も進行中とのこと。トランプ氏は大統領選挙で勝利後、中国製品に対し最大60%以上の関税を課す意向を示している。

トランプ大統領の対中関税、カンボジアに恩恵の可能性

懐かしき1枚

プノンペンの「ロシアマーケット」で見かけた、やせ細りお腹もぺちゃんこの少年。観光客が来ると脇に挟んだ段ボールで扇いで風を送り、今日を生きるためお金をせがむ。2003年撮影。この少年は、もう立派な大人になっていることでしょう。



ワンダラーボーイ

写真提供: 遠藤 啓会員

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日
住所	(TEL)				
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]				

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。